

“住民のために”信念貫く



日本共産党 県議会議員

三浦一敏 かずとし

9月5日  
緊急の  
申し入れ

物価暴騰、コロナ感染過去最大…  
県はただちに対策を

県民向けの  
電気代の独自支援を

医療機関、福祉機関への  
光熱費への補助を

小中学校、県立学校の  
給食費の無料化を

生業へさらなる支援を

- 原材料、資材高騰に苦しむ小規模事業者、建設業者への独自支援
- 燃油代に苦しむ漁業者への燃油補助
- エサ代の高騰などに苦しむ畜産業者への支援
- 肥料の高騰、猛暑の影響で苦しむ農家の支援

一般会計予算は **1兆円** 東北一の財政力  
今こそ活用を



冷たく強引な村井県政に  
**ズバリ** ものがいえる  
県議が必要です

- 👉 9月補正予算に、生活・生業支援はほとんど含まれず—
- 👉 “史上最高”の利益をあげている**東北電力**になにも言わず—
- 👉 海洋放出の強行に抗議も反対もせず—
- 👉 4病院再編が批判をあびて暗礁にのりあげ、こんどは名取市へ**民間の精神科病院誘致**を言いだす—

◆ “人の話を聞かない、—こんな村井知事の姿勢に、次々と批判の声が…。しかし、知事は「私の結論は変わらない」「止めることができるのは県議会だけ」と居直る始末です。

知事になにも言わず助長させているのが自民党などの与党議員です。

三浦一敏は、「県民の声を聞き、県民のために働く県政へ」流れをかえるために、全力でがんばります。



国民の声をきく政治へ流れを変えよう

- 海洋放出中止 汚染水減らす対策こそ
- 紙の保険証を残せ マイナ押し付けやめよ
- インボイスの中止を 消費税の減税こそ
- 女川原発の再稼働中止を
- 5年で43兆円の大軍拡ストップ

「第2自民党でいい」  
— 維新・馬場代表

「第2自民党でいいんです」—ネット番組に出演した馬場代表はこう言い放ちました。維新では政治は変わりません。

# あなたの地域で 身近に役立つ

県議会議員

# 三浦かずとし



## 石井閘門水押堤防線 市道の拡幅—— 来年度予算で実現へ

水押、閘北、新生会の3人の会長さんとともに、市長に申し入れ。「早期に改善させたい」との回答をいただきました。

(8/10 石巻市長交渉)



## 湊小通学路の歩道改善—— 「冬休みまでに完成させたい」

歩道が整備されておらず、子ども達は遠回りして通学。PTA会長の方と改善を要望しました。「土地買収が終わり、冬休みまでには」との回答です。

(8/18 県東部土木事務所交渉)



## 網地島の県道の のり面対策

「のり面が崩れて危ない」  
—区長さんから要望を聞き、改善の工事がはじまっています。



## 桃生の和牛農家と懇談 「エサ代高騰への支援を」

エサ代の高騰、子牛の暴落など、農家の声を直接お聞きして、県に要望しています。



## すぐに動いてくれた

中里第一町内会役員  
千葉健樹



水押堤防の拡幅では市に申し入れてくれました。庶民的で常日頃から、私たち住民のために働いてくれる三浦さんは、とても頼りになります。庶民的で身近に役立つ人です。さらに期待しています。

## 通学路の安全のために

湊小学校PTA会長  
馬場美保



通学路に歩道やガードパイプがなく、「改善は難しいのかな」と思っていました。三浦さんと県に交渉し、「要望書」を提出したら、「整備します」との回答に驚きました。応援します。

## 石巻になくてはならない

石巻民主商工会会長  
大嶋 勉



資材・ガソリンの高騰は、商売に大打撃です。アルプス処理水放出も地場産業にとって大きな問題。地域や子どもたちの将来を考えると、キツパリものがいえる三浦さんの存在がますます重要です。

## 震災から12年——三浦一敏の変わらぬ思い



2011年3月11日、すぐに被災した住民のところをまわり、支援を始めました。その年、みなさんのご支援で、初めて県議会に送っていただきました。

それから12年。市民、業者、漁業者、農家が、くらしと生業をとりもどすために、どれだけの苦勞をされてきたか、その苦勞に政治は応えてきただろうか。「住民の苦難軽減」をかかげる共産党の議員として、私

自身、日々問われ続けてきました。

しかし、村井県政、岸田自民党政権には、そんなことは、まったく眼中にありません。県民の痛みがわかるなら、病院をなくすとか、海洋放出を強行するなど、絶対にできないはずで。

いまこそ政治が「人の心」をとりもどすときです。「住民のために」——この信念を貫いて、さらに力をつくす決意です。